

# 令和7年度理事会報告

令和7年6月21日(土)14時00分より、宇都宮大学峰ヶ丘講堂において令和7年度理事会が開催された。以下に項目別に会議内容を記載する。



## 1. 開 会

司会の福井えみ子常任理事より開会の挨拶があった後、令和5年7月から令和6年8月までの物故者に対しての黙祷が行われた。次に、峰ヶ丘会則では「第17条 理事会成立は構成員の過半数の出席を必要とする。」となっており、本日は構成員65名の内、出席者35名、委任者19名で過半数となっているので本会が成立していることが報告された。

## 2. 議長選出

慣例により、宇田靖峰ヶ丘同窓会長が選出され、会場からの拍手をもって承認された。

## 3. 会長挨拶

宇田会長から挨拶があり、先ず、昨年行われた100周年記念事業の一つである記念碑の設置と除幕式が本日開催されることが紹介された。次に、今年度事業計画の中に大学が行っているヒストリカルゾーン整備に対する資金協力として、峰ヶ丘講堂の床の張り替えなどの修繕、全学の同窓会設置への意見交換が進められていることが紹介された。これらに対しての審議、忌憚の無いご意見を頂けるようお願いされた。

## 4. 議 事

### (1) 会務報告

理事長から、下記について報告された。

#### ①「学生支援制度」の実施

農学部栄誉賞3件、農学部奨励賞2件。

#### ②学生支援の実施

生協コラボおいしいご飯とお味噌汁提供。ゆうだいい21を提供した。

#### ③理事会及び常任理事会等の開催

常任理事会は月に1回程度の開催で、12回実施した。

#### ④「峰ヶ丘会報」の発行

2024年11月10日に第162号を発行。

#### ⑤農学部への協力支援

農学部長に30万円をお渡しした。

#### ⑥教育研究支援制度（教員会員）」の実施

農学部栄誉賞1件。海外学会旅費支援1件。

#### ⑦新入生歓迎会支援およびお祝い品贈呈

4月にクリアファイルを贈呈、新入生歓迎会支援金（一人あたり1,000円各学科へ配布）

### ⑧支部総会への常任理事の派遣

茨城支部総会（2024/08/10）、栃木県庁支部総会（2024/08/29）岩手支部総会（2024/08/31）、福島支部総会（2024/11/16）、秋田支部総会（2024/11/30）、栃木県高等学校教職員連絡会総会（2024/11/30）、大韓民国支部総会（2025/01/04）、宮城支部総会（2025/02/01）に招待され出席。

### ⑨100周年関連事業

11/22に農学部創立100周年記念植樹式（日光紅姫桜3本）を行った。

### ⑩大学諸行事の協力

学位記授与式と入学式へ宇田会長が参加。

### ⑪入会促進事業

1年生から3年生の会費未納者に対して入会案内を送付（2024/12月）。

### ⑫海外支部創設支援

大韓民国支部総会（2025/01/04）に宇田会長と房理事長が参加した。

### ⑬その他の行事

新入生歓迎会を学科ごとに開催した。

2024年5月15日に会計監査を行った。

### 【質疑】

#### 小笠原理事：

・大韓民国支部総会に同窓生は何名参加したのか？

回答（房理事長）：11名参加した。

・学生支援（生協コラボ）は何名に実施したのか？

回答（福井理事）：全学の学生を対象に100食提供した。

### (2) 令和5年度決算報告及び監査報告

香川常任理事から、決算書（案）についての説明が行われた。

以上について、令和7年5月12日に津谷好人監事、渡辺正夫監事、岩上真美監事による会計監査が行われた。

引き続き、津谷好人監事から、会計監査を実施した結果、帳簿、通帳等適正に処理されていたとの報告が行われた。

【質疑】 質疑等は無く、(1)と(2)が承認された。

### (3) 役員の承認

房理事長から、説明があった。常任理事では、農業環境工学から守山理事が退任し、田村理事が加わるため挨拶があった。福島支部長の変更があることが確認された。

### (4) 令和7年度事業計画（案）

房理事長から下記の通り、事業計画（案）についての説明が行われた。

#### ①「学生支援制度」および「教育研究支援制度（教員会員）」の実施

昨年と同様に行う。

#### ②学生支援の実施

#### ③理事会及び常任理事会の開催

常任理事会は月に1回程度行い、理事会は来年の6月を予定している。

#### ④「峰ヶ丘会報」の発行

秋に163号発行予定。

#### ⑤農学部への協力支援

母校協力費として30万円の支出。

## ⑥新入生歓迎会支援およびお祝い品贈呈

学生1名あたり1,000円を各学科へ支援およびクリアファイルの贈呈。

## ⑦支部総会への常任理事の派遣

お声掛けいただければ常任理事を支部総会へ派遣することで対応する。

## ⑧峰ヶ丘講堂床改修事業

会報を通じて寄付金を募ることも予定している。

## ⑨大学諸行事の協力

入学式、学位記授与式への会長出席。

## ⑩入会促進事業

会費未納者に対して行う。

## ⑪海外支部創設支援

現在、韓国で支部創設の動きがありこれを支援する。その他、農学部卒業者がいる、タイ、中国、インドネシア等の同窓生に対しての支援も考えられる。

## ⑫その他の行事

⑬基本財産特別会計の取り扱いに関する検討を進める  
宇田会長から峰ヶ丘講堂床改修事業について補足説明があった。昨年度ヒストリカルゾーンで1,000万円を計上していた。記念碑や記念樹の予算を差し引いた金額を峰ヶ丘講堂修繕に使用予定であるが、同窓生にも寄付金を募る予定。

また、全学の同窓会設置（同窓会の1本化）についての補足説明があった。

## 【質疑】

茨城支部長：同窓会を1本化した際、県支部にはどのような影響や要請があるか？

回答（房理事長）：今後、各支部との意見交換のもと、大学本部と交渉していく予定。これまでの事業がなくなることはあり得ない。継続しながら、当別会計の予算の使用も含めて考えていく。

菅原理事：全学同窓会の他に各学部の同窓会があるような組織体制にはならないのか？

回答（房理事長）：同窓会活動が法人として認められるのかを本部は心配している。1本化については今後さらに情報を集めて議論していく必要がある。

## (5) 令和6年度予算（案）

香川常任理事から、予算書（案）の説明が行われた。

(4)、(5)について他に質疑等は無く、承認された。

## (6) その他

特に質疑はなかったが、基本財政特別会計についてと同窓会1本化について、支部や理事からも意見を伺いながら、常任理事会でも積極的に議論していくことが確認された。

## 6. 閉 会

福井常任理事から閉会の挨拶があった。

終了後、池田学長、山根農学部長、松澤前会長にも出席いただいて、100周年記念碑除幕式（グリーンスペース）および懇親会（大学生協2階談話室）が開催された。

## 学生支援

## 学生海外学会

## 11th Asian Crop Science Association Conferenceに参加して

私は2025年5月19日から21日にかけて、台湾の台北で開催された「The 11th Asian Crop Science Association Conference (ACSAC11)」に参加いたしました。ACSACは4年ごとに開催され、作物に関連するさまざまな分野の研究者が集まり、研究成果を共有する場となっています。

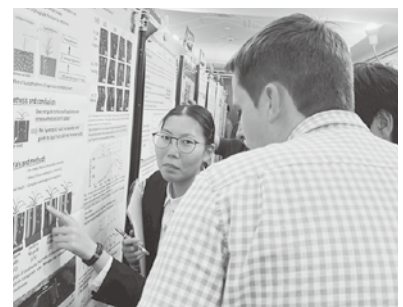
私は、“Does Physical Root Guidance to the Local Phosphorus Application Site Increase Wheat Yield and Phosphorus Uptake?”というタイトルでポスター発表を行いました。近年、リン鉱石の偏在や枯渇により、リン酸肥料の価格が高騰しており、より効率的な利用が求められています。これまでの研究では、コムギにおいて、リン酸を局所施肥すると、その施肥位置で根が繁茂し、収量が増加することが知られています。今回の研究では、リン酸局所施肥位置へ遮根シートによりコムギの根を誘導することで収量およびリン濃度にどのような影響があるのかを検討し、その成果を発表しました。

学会中は多くの発表を聴講し、作物に対する理解をより一層深めることができました。自身のポスター発表では緊張もありましたが、研究に関心を持ってくださった多くの方々に向けて、伝わりやすく説明することに努めました。ある参加者からは発表前に「Are you nervous? Relax and smile.」と声をかけていただき、緊

張がほぐれ、落ち着いて発表を楽しむことができました。いただいた多くの質問やご意見は大変貴重なものであり、今後の研究の励みとなりました。また、Coffee BreakやWelcome Banquetの時間には様々な方と交流することができ、「宇都宮大学といえば“ゆうだい21”」という認識を持っている海外の参加者ともお話しする機会がありました。本学の先生方による研究活動とその発信が、国際的にも評価されていることを改めて実感しました。

今回の学会を通して、多くの研究者の方々と情報を共有し、視野を広げることができました。そして、研究や発表そのものを楽しむことが、より深い学びにつながることを実感しました。今後も研究活動および学会参加を通して、さらなる成長を目指して努力を重ねてまいります。

最後になりますが、本学会への参加にあたり、ご支援いただいた峰ヶ丘同窓会の皆様に、心より感謝申し上げます。



（文責：生物資源科学科 藤元 夢羽）